

動画変換 & 軽量化

編

無料ソフトフォーマットファクトリーで ビデオ形式を自在に変換。 いつでもどこでも見られるようにする

気に入ったビデオならいつでも何度でも見たいし、他人にも見せたいもの。このソフトを使って、パソコンやケータイ、iPodで見られる形式に変換しましょう。



使用した無料ソフト
フォーマットファクトリー
作者 FormatFactoryさん
http://www.formatoz.com/
対応OS ウィンドウズXP/ビスタ

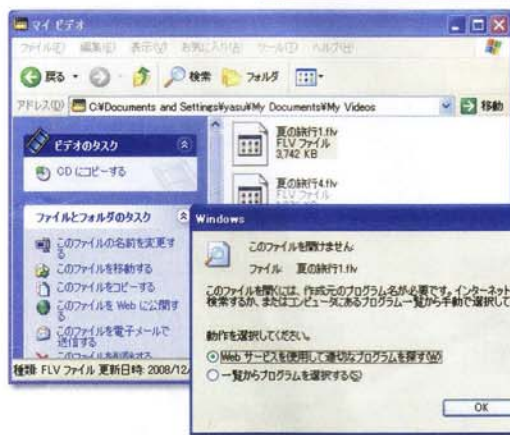
ファイル形式を相互に変換するソフト。動画だけでなく、音楽や写真ファイルの形式も変換できる。動画はAVIやWMVはもちろんのこと、MP4や3GP、FLVなど主要形式をすべてサポート。ファイルをドラッグ&ドロップするだけで変換できる。海外製ソフトだがインストールするとメニューが日本語になるので、使い方迷うことはない。

【図1】開発元のウェブサイトで「Download」ボタンを押し、次の画面で「Main Site」の「Download」ボタンをクリック。さらに次の画面で「Download Now」ボタンを押してファイルをダウンロード。[FFSetup]のアイコンをダブルクリックすると、セットアップウィザードが開くので指示にしたがってインストールする。



【図2】これがフォーマットファクトリーを立ち上げたときの画面。右下のスペースに変換したいファイルを登録していく。

FLV形式はウィンドウズでは開けない



【図3】一チューブでも使われているFLVファイルはダブルクリックしても左のようなエラーが出て再生できず、「ゴムプレーヤ」などの再生ソフトをインストールする必要がある。だが、WMVに変換すればダブルクリックするだけでメディアプレーヤで再生できるので、ほかの人に動画を送るときには最適だ。

【図3】形式を選択する画面が現れるのでWMV形式を選ぶ【図4】。必要

動画の形式を変換するソフトはいろいろあるが、今回は「フォーマットファクトリー」という海外製のソフトを紹介しよう【図1~2】。多くの形式をサポートしているのと、形式を選ぶだけで簡単に交換できるのが特徴だ。ここでは、ネットからダウンロードしたFLV形式の動画をWMV形式に変換する手順を例に解説する。FLVファイルのアイコンをフォーマットファクトリーのウィンドウにドラッグする

動 画ファイルには数十種類の形式がある。63ページで紹介した「ゴムプレーヤ」を使えば、どの形式でも再生できるのだが、動画を友人に送るときなど誰でも見られる形式に変換しておくトラブルを未然に防げる。相手がウィンドウズを使っているなら、WMV形式に変換すればメディアプレーヤで必ず再生できる。

FLV形式のビデオを どのパソコンでも見られる WMV形式に変換する

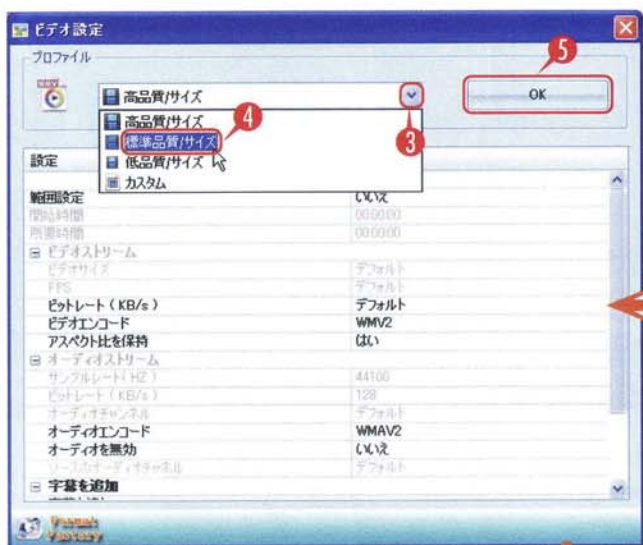


図5 ③[V] をクリックすると画質を3段階から選べる。ここでは④[標準品質/サイズ] を選ぶ。⑤[OK] で設定を保存し、④に戻ったら⑥[OK] で画面を閉じる。



図6 ほかにファイルがあるときは【図3~5】の作業を繰り返して登録しておく。⑦[開始] をクリックすると変換がはじまる。



図7 変換が終わったら【図6】の⑧[出力先] をクリック。変換ファイルが入っているフォルダが開く。ダブルクリックして正しくメディアプレーヤーで再生できるか確認しておこう。



図3 フォーマットファクトリーのウィンドウに変換したい動画ファイルのアイコンをドラッグして登録する。



図4 変換形式を選択する画面が現れるので①[対応形式からWMV] を選ぶ。さらに画質などの設定をしたいときは、②[設定] をクリックする。

にに応じて品質などをカスタマイズすることもできる【図5】。メイン画面に戻ってきたら「開始」ボタンをクリックすると変換がはじまる【図6】。変換済みファイルはマイドキュメントの中に作成されるので、ダブルクリックして間違いなく再生できるか確認しよう【図7】。

複数の動画があるときは図3~5の操作を繰り返し、リストに追加してから「開始」をクリックすると、一度に複数のファイルを変換できる。ただし、解像度が高い動画の場合、変換に長い時間がかかるので注意しよう。

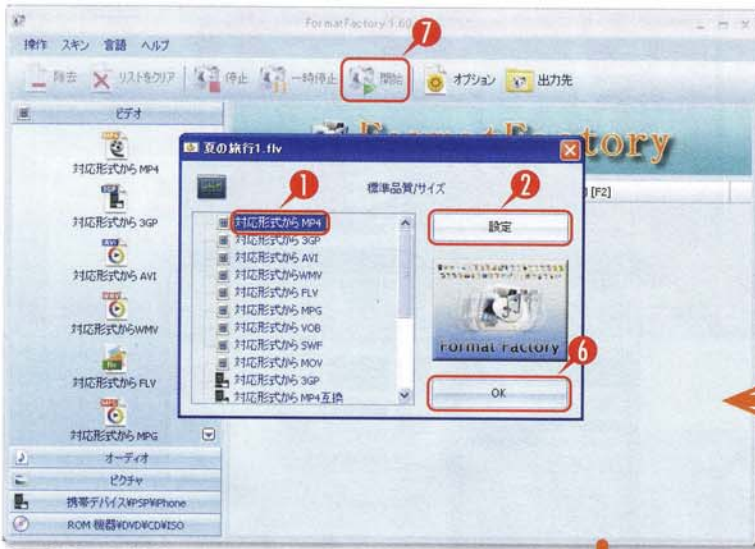


図2 iPodやiPhoneで見たときは①[対応形式からMP4]を選び、②[設定]をクリックする。

iPod、iPhone、ケータイで見られる形式に変換する

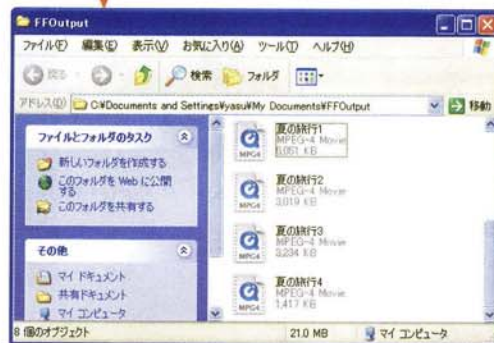
ケータイで見たいときは「3GP」を選択する

携 帯電話で再生できる動画を作るには、[図2]で[対応形式から3GP]を選択する。ただし、機種ごとに対応する解像度やビットレートが異なるので、次ページの手順で設定を調整しないと再生できないこともある。また、スマートフォンでは3GPではなくMP4を使うものがある。



ているのでよく確かめよう。

【図2】、携帯電話用なら「3GP」を選ぶ（コラム参照）。ここで注意したいのは設定をクリックして各端末の機種名を選ぶところだ【図3】。iPod、PSPなどの機種ごとにサポートする解像度やビットレートが異なる



フォーマットファクトリーはiPod、iPhone、PSP、携帯電話で再生できる動画形式のMP4や3GPなどにも対応している。変換の手順はページと同じで、動画ファイルのアイコンをフォーマットファクトリーのウィンドウにドラッグして登録【図1】。iPodやiPhoneのデータを作りたいときは形式として「MP4」を選び【図2】、携帯電話用なら「3GP」



図1 前ページと同じように、動画ファイルをフォーマットファクトリーのウィンドウにドラッグして登録する。

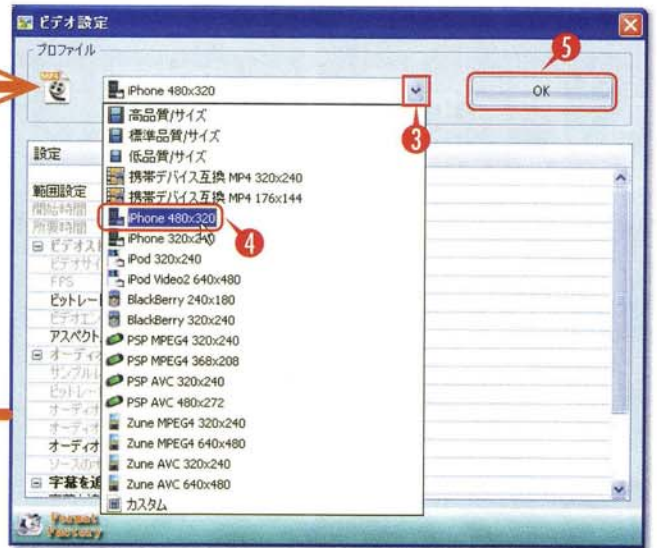


図3 ③[V]をクリックし、④再生にしたい機種名を選ぶ。⑤[OK]をクリックして【図2】に戻ったら、⑥[OK]→⑦[開始]とクリック。



図4 変換が終わった動画ファイルはiTunesのライブラリに登録すれば、iPodやiPhoneに転送できる。

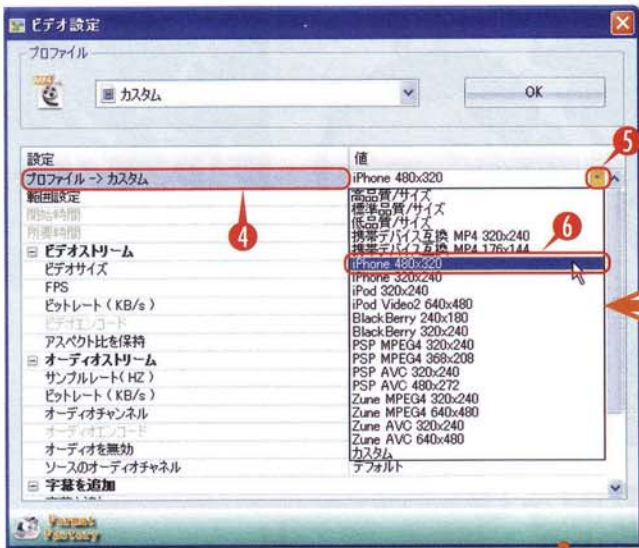


図7 ④[プロフィール→カスタム]の行を選択して⑤[▼]をクリック。現れたリストから⑥機種名を選ぶ。その機種標準設定が読み込まれるので、これをベースに変更を加える。

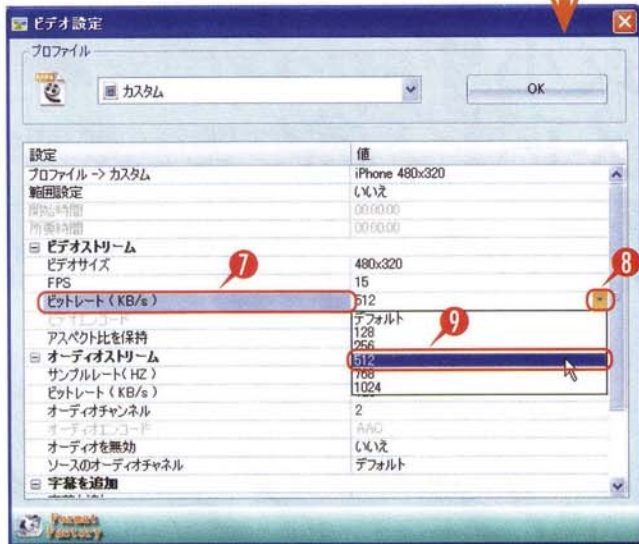
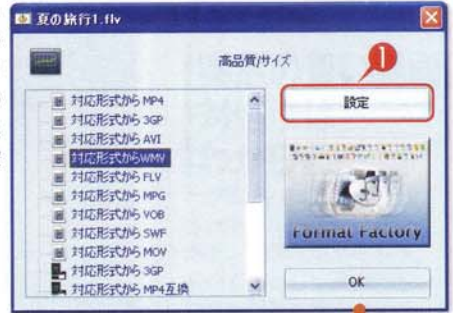


図8 ⑦ビットレートの行を選択し、⑧[▼]をクリック。⑨ビットレートを調整する。必要に応じて解像度やフレームレートなども調整する。あとは右ページの【図3~4】と同じ手順で動画を変換する。

図5 変換したいファイルを右ページ【図1】のようにドラッグすると、この画面が現れる。変換形式を選んで①[設定]をクリック。



解像度や
ビットレートを
細かく設定して
変換する

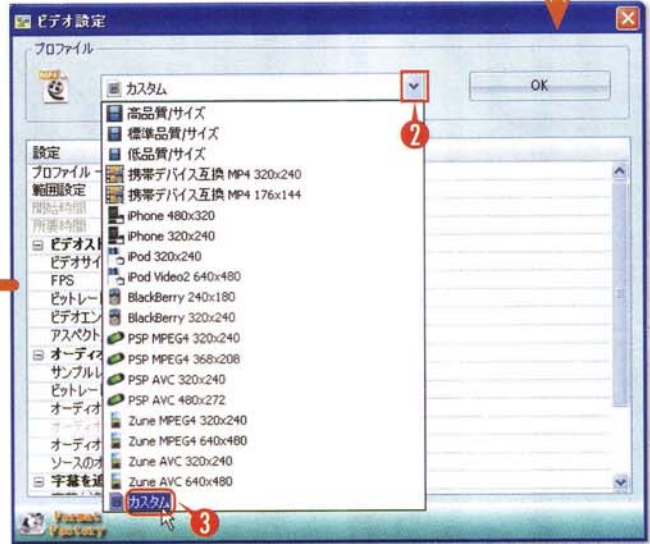


図6 ②[▼]を押して、機種名を選ぶところで③[カスタム]を選択する。

それぞれの携帯機器に最適な解像度とビットレート

	サイズ重視	標準	画質重視	
iPod iPod nano	解像度	160×120ドット	320×240ドット	640×480ドット
	フレームレート	15fps	30fps	30fps
	ビットレート	MPEG4/192Kbps	MPEG4/768Kbps	MPEG4/2000Kbps
	オーディオ	64Kbps	96Kbps	128Kbps
	サイズ (10分)	約20MB	約65MB	約160MB
iPhone iPod touch	解像度	320×240ドット	480×320ドット	640×480ドット
	フレームレート	15fps	30fps	30fps
	ビットレート	MPEG4/512Kbps	H.264/768Kbps	H.264/2000Kbps
	オーディオ	64Kbps	96Kbps	128Kbps
	サイズ (10分)	約43MB	約65MB	約160MB
PSP	解像度	320×240ドット	480×272ドット	720×480ドット
	フレームレート	15fps	30fps	30fps
	ビットレート	MPEG4/512Kbps	H.264/1000Kbps	H.264/2000Kbps
	オーディオ	64Kbps	96Kbps	128Kbps
	サイズ (10分)	約43MB	約82MB	約160MB

*iPod/iPod nanoでもH.264を使うと画質を上げられるが、2005年に発売されたiPod (通称iPod video) は最大768KbpsのH.264動画しか対応できない。

変換が終わった動画ファイルは iTunes に登録してから転送する【図4】。もっとサイズを小さくしたいときは、反対に高画質のデータを作成したいときは、機種名を選ぶところで「カスタム」を選択する【図5~6】。初期設定をもとにして、解像度やビットレートをカスタマイズしてから変換しよう【図7~8】。なお、機種ごとにサポートする解像度やビットレートは決まっています。範囲外の数値を指定すると再生できないデータになってしまう。左の表を参考にしながら機種にあった設定を探し出してほしい。